

あやめが丘の窓から

起、承、転、結。

校長 下 釜 祐 保



秋が深まった。読書の秋とも言われる。文章を読み書きするとき、いつも思い出すのが「起、承、転、結」という言葉である。小学校で教わったこの言葉が印象強い。文章の組立てには、他に「序論、本論、結論」という展開もある。能や歌舞伎などの日本の伝統芸能では「序、破、急」という構成があるらしい。

起承転結とは、元来、漢詞の句法である。高校時代に古典で学ぶ五言絶句や七言絶句がそれである。4コマ漫画もこの典型として紹介されるようだ。

- (起) 大阪本町 糸屋の娘
- (承) 姉は十六 妹が十四
- (転) 諸国諸大名は 弓矢で殺す
- (結) 糸屋の娘は 目で殺す

は有名だ。事のてんまつがよく分かって面白い。

専門的に勉強したわけではないが、起承転結で最も重要なのは「転」であると思えてならない。「転」とは、「好転」の転であり、「逆転」の転である。「転」にはドラマがあり、インパクトがある。この「転」こそが、「結」を力強い説得力のあるものにできるかどうか、すなわち文章の良否を握っているように思うのである。

10月、今年度も折り返して下半期に突入した。来月になると更に秋は深まる。年度の「春夏秋冬」を「起承転結」に例えるなら、「転」に位置する「秋」こそ最も重要だ。今こそ、この秋こそ、頑張り時だ。



学年だより

～第1学年より～

いよいよ口加高校にきて初めての文化祭を迎えようとしています（私も含めて）。各クラスの出し物に加え、ステージ部門としてダンスと劇を行う予定です。ここで大事になるのが先月号にも書きました「メリハリ」です。楽しめる時にしっかり楽しめるために、挨拶・掃除・容儀・時間や課題の提出期限を守るなど、やるべきことをおろそかにしてはいけないと思います。それがなければ、ただのおふざけです。「メリハリ」が身につけば「爆発力」につながります。「爆発力」があれば最後に勝負ができます（部活も勉強も）。学校生活のすべてを一生懸命に！

（1学年主任 松本 辰哉）

～第2学年より～ 2年生後半戦 「前進か後退か」

We must learn something every day. You either progress or regress. Then **why not go forward?**

10月も下旬にさしかかりました。本当に時間が過ぎゆくのはあつという間ですね。

特にこの時期は行事が続き、生徒のみなさんが多忙感を抱え日々を送っていることでしょう。『週末は模試・・・、課題はコレとアレ・・・、菖蒲祭の準備は・・・、部活の大会が・・・、期末考査も・・・。』やらなければいけないことが目白押し。さらに、そのどれも自分（たち）が中心となってやるものばかり。頭も気持ちもいっぱいいっぱいという人が多いのではないのでしょうか。

冒頭の言葉は、映画監督・俳優のクリント・イーストウッドさんの言葉です。忙しい日々の中にも必ず学びがあります。多忙にかまけて目的が見えなくなるような事態は避けたいものです。1人で抱えきれないことは周囲に相談をしましょう。見通しを立てて、何を優先順位とすべきか考えましょう。一つ一つそのハードルをクリアして行く自分を褒めましょう。そうしていくうち、自ずと前進を遂げているはずですよ。出来ればそれを楽しむ余裕すら欲しいですね！さあ、2年生後半戦。がんばろう！

（2学年3組副担任 吉永）

～第3学年より～

月日の流れは早いもので、早くも10月を終えようとしています。3年生にとっては大きな学校行事が終わり、受験シーズンとなるこの時期が一番の正念場と言っても過言ではありません。忙しい毎日を送るからこそ自己成長できる絶好の期間と捉えたいですね。何事にも前向きに、そしてひたむきに。残すは進路実現。最後まで粘った者だけが合格を勝ち取れるはずですから、そのサポートには最後まで全力を傾けます。

頑張れ、顔晴れ、3年生！！

（3学年5組担任 山内）

グローバルコースのあれこれ

今回から「グローバルコース」の紹介コーナーを設けさせていただき、「グローバルコース」の魅力をお伝えしていきます。生徒・保護者・地域がワクワクするようなプログラムを準備しています。最初は、コースの概要を説明します。

コースのコンセプトは、

- ・地球規模の視野で考え、故郷を愛し故郷に貢献する人材を育てます。

【Think Globally, Act Locally】

- ・地域社会の課題から学び、地球規模で活動する人材を育てます。

【Think Locally, Act Globally】

教育内容は、①総合的な学習で、探究型学習、②英語教室を活用した4技能強化の英語教育、③海外の高校との連携プログラム・オーストラリアへの語学研修など。この3つの柱を中心にこれからの時代が求める力を育てる魅力的な教育活動を実践していきます。

！！今月の部活動！！

10月は各部、地区新人戦等が行われました。
日々の積み重ねを大切に、
頑張って～頑張って～！！□～加！！

放送部 10月23日（日）にたらみ図書館にて放送地区大会が行われました。結果は残念ながら県大会進出とまではいきませんでしたが、春の大会と比べて前進が見られました。今後も練習に励んでいきたいと思います。顧問 本多

バレーボール女子

中地区新人戦結果（10/15 土：向陽高校体育館）
予選リーグ1 ロ加 0 VS 2 島原農業
予選リーグ2 ロ加 0 VS 2 長崎日大
今回、予選突破を目標に臨んだ大会。まだまだ力不足だが、やるべき課題は見つかった。
次の1月県新人戦では3回戦突破を目標に頑張ります。
顧問 小松

人権学習（デートDV予防教育）

10月13日（木）に、NPO法人DV防止ながさき様から講師をお呼びして、「DV（ドメスティック・バイオレンス：親密な関係間での様々な暴力）の予防」のため正しい知識を身につけ、ロールプレイを交えながらDVが起こらないような「対等な関係づくり」について学びました。



センター100日前集会

10月6日（木）にセンター試験100日前集会が行われました。校長先生、学年主任から力強い激励の言葉を受け、全員で受験に対する覚悟を固めました。



全員で進路実現を果たすぞ！頑張れ、3年生！！

中地区学習交流会

10月8日（土）～10日（月）に諫早青少年自然の家で中地区学習交流会が行われました。交流会に参加した本校の生徒3名は、他校の生徒とともに大学入試問題に挑戦し、新たな刺激を受け、更に学習に励んでいます。応援しています。受験に向かって必死になれ！

ねんりんピック長崎2016

ねんりんピック長崎2016ペタンク交流大会が10月16日から南島原市で開催され、会場案内係として本校生徒10名が、競技補助係として約40名が参加しました。また、前日の開会式には、放送部員2名が式典進行係として参加しました。



今月の生活創造コース&家庭クラブ

【家庭クラブ総会】10月6日（木）

南島原市の管理栄養士 荒木洋子先生と保健師 本村恵子先生を講師に招き、「食生活と健康」についてご講演いただきました。この講演を通して自分自身の食生活を見直し、また健康診断の定期的な受診の重要性を再認識しました。



《2年生》

10月8日（土）口之津図書館でお話会を行いました。

《3年生》

10月19日（水）玉成園デイサービスを訪問し、レクリエーションとして、利用者の方々と輪投げをして楽しみました。また、協力して大きな貼り絵を制作しました。



職員ペンリレー

「受験は団体戦！」田中秀和 先生

受験とは個人で大学や専門学校に行って受けるので個人のことにように思われます。しかし、それは最後の試験の時だけです。それまで年間を通して考えればやはり団体戦です。そのクラス、学年の雰囲気によって受験の結果は大きく変わってきます。だからこそ・・・

“みんなで共に頑張る！”

ことが必要なのです。これは受験を控えた人だけではありません。受験が終わって合格を勝ち取った人も同様です。周囲を見渡せばまだ受験が終わらずに焦る気持ちに押しつぶされそうになっている友達がいます。そのような友達を尻目に浮かれた態度は決して取れないはず。自分も試験の前はそうだったはず。その時の気持ちを思い出して周り人のことを考えた行動を心がけましょう。

合格した人も気は抜けません。皆さんは上級学校へ進学するのです。各々の学校へ行ってから苦労することがないように、高校時代に身につけるべき内容はしっかりやっておきましょう。他にも出願時に作成した成績関係の書類はあくまで仮に作成したものです。正式には当然卒業までの成績が出ます。最後までしっかり取り組まなければなりません。合格が決まった人はこれから将来のことをしっかり考えましょう。どのように仕事をしていきますか。どのように生きていきますか。これからの卒業までの時間を使い、自分自身と向き合しましょう。

北有馬幼稚園児とEZ教室交流

10/12（水）2校時、本校の1年生と北有馬幼稚園の園児の交流として、英語の授業が行われました。本校と幼稚園のALTが主導となり、園児の皆さんと一緒にビンゴやジェスチャーなどのゲームを楽しんでいました。終始、和やかな雰囲気に包まれ笑顔のあふれる一時でした。

